



共に学ぶ

学校支援ボランティアセンター (SSVC)

第29号(年2回発行)

狭山市学校支援ボランティアセンター
＜事務所＞

狭山市狭山台1-21

狭山元気プラザ内A棟3F

☎/Fax 04-2927-1395

E-mail: sayama-ssvc@bd.wakwak.com

電話受付: 月・水・金曜日午後1時~4時迄

誰一人取り残すことのない学びのために

SDGsという言葉をよくの場面で目にするようになりました。「誰一人取り残さない」という理念の下に設定された、全世界的な行動目標と取組のことで、持続可能な開発のための目標と到達点が示されています。教育についても、「すべての人々への包括的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」と目標が設定されています。

「誰一人取り残さない」の観点から、現在の狭山市の小中学校を鑑みますと、大きく二つの課題が挙げられます。

一つは、県の平均と比較しますと、学力の中位層の伸びが他の層に比べ不足していることです。すべての子供の学力を伸ばすため、この中位層に対する指導や支援をより充実することで、学習内容の定着を図ることが求められます。

もう一つは、不登校についてです。ここ数年、本

狭山市教育委員会

学校教育部 部長 伊藤 秀一



市の不登校児童生徒数は増加の傾向であり、それに伴って学ぶ機会を失っている状況にある子供も増加しております。

「誰一人取り残さ

ない」の大前提は、すべての人が参画する社会です。すべてのさやまっ子が、学ぶ楽しさ、友と過ごす楽しさを味わえるよう、大人が後押しする必要があります。

誰一人さやまっ子を取り残すことのない学びを実現するためには、家庭、地域、そしてSSVCをはじめとする関係団体等との連携の一層の強化が不可欠です。今年度もご理解・ご協力の程、どうぞよろしくお願いいたします。

コロナ後の学校支援に向けて

新型コロナウイルスによって社会が深刻な影響を受けている中で、SSVCは学校と担当コーディネーターとの緊密な連携と感染予防の工夫によって、細々とではありますが、できる限りの学校支援を継続して来ました。高齢者対象のワクチン接種が進み始めましたので、もう少しすると小中学生と直接触れ合っの支援が再び可能になるのではないかと期待しています。

学習指導要領が新しくなり、GIGAスクール構想やコミュニティ・スクール化の推進など、学校を取り巻く環境は大きく変わっていますし、長期化し

SSVC 事務局長 山田 恵一

たコロナ禍によって、子供たちだけでなく先生方も大きなストレスを抱えているようです。

私たちは、先生方と子供たちに寄り添いつつ、学校の新しいニーズに応えられるよう、ICTのスキルを高めると共に、子供たちを地域で育てる活動の中核となるべく、コロナ後に備える努力を続けたい



と思っています。



素晴らしいボランティア集団 SSSC への想い

前 SSSC センター長 諸井 寿夫

今から半世紀程前のことですが、日本のヒット商品を北米で販売を始めるため「素晴らしい人々・・・」(You meet the nicest people・・・)と。この広告キャンペーンは、北米の主婦や親子、若いカップルといった良識ある人たち、いわゆるナイスストピープル、そして成長期の子供たちの声に横を向いていた母親も「この商品だったら買ってあげる」と妥協したとのこと。北米文化は、物事の論理性(logicality)を重要視、つまり直感や感覚的に物事を捉えないで筋道を立て矛盾がない思考力を大事にして大国に成長したといわれています。この素晴らしい人々の集まりは、これこそボランティア集団 SSSC に置き換えられ、自慢できると日頃思っています。未来を担う子供たちのためにと SSSC 市民団体は、他に類を見ない存在であり、この活動が対外的にも大きな評価を頂いていることは、ご承知の通りです。しかし、SSVC 設立以来、15 年を迎えるこの時期、世の中大きな変革期であり、この動向に合わせた新

たなアプローチが必要と思います。この変化の大きなポイントは、世界中の人々を苦しめているコロナ禍であり、これを乗り越えるニューノーマル、超スマート社会(society5.0)など新たな視点です。その中でも文科省指導のコミュニティ・スクール(CS)の展開は、学校運営に参画するという従来にない大きな変化です。全国展開が始まっていますが、どこも学区別(学校別)であり、長年の SSSC の実績、経験を基に「地域と共にある学校づくり」の一翼を担う構造への検討が必要であると思っています。諸兄弟の益々のご健闘を祈る次第です。

豆知識

日本のヒット商品「スーパーカブ」



この50年間に世界中で1億台が販売されています。当時北米の子供たちは、草原などで走っていましたが、当初のデザイン、当時の工夫(コンセプト)は、ほとんど変わらず、郵便、新聞配達などで見かけます。

「人の子」を「人」に育てるお手伝い

前 SSSC 事務局長 猪股 英行

人類が成長を続けるには、次の世代を担う子供たちに、我々の世代以上のしっかりとした人間に育ててもらい必要があります。人の子として産まれても、その当初は他の動物の子と何ら変わるところはなく、パンのみでは一人前にはなりません。「人の子」を「人」に育て上げることは人類の大きな課題であり、その過程が教育だと思います。

私はシニア・エイジを迎えるに当たって、子供たちの育成に役立ちたいと考えたのが SSSC との出会いになりました。以後10年以上にわたり、狭山市立小・中学校の理科・算数・数学・英語などの授業で子供たちと接触できるようになり、彼らとの対話を楽しむことができました。

分数の計算にてこずっている児童に、①分母を揃えること、②分数は分母と分子に同じ数をかけても変わらないこと、などを説明したところ、その子は、「そうか、わかった!」と大きな声を発してくれました。小さな一段ですが、彼が越えることに手を貸せたものと嬉しく思いました。

SSVC には気持ちを同じくする300名を超す仲間が登録し、どこかの学校で支援活動に携わってきましたが、昨年からのウイルス禍によりその場の多くが閉ざされてしまいました。

ワクチン接種が順調に進み、子供たち・先生がた・我々市民という三方の喜びとなる日が、少しでも早く戻ることを願っています。

2020 年度支援実績報告

情報集約 G 角田 ふで子

子供たちと近距離で顔を合わせることができない中、CNと支援者が工夫して支援を行いました。たとえば、ビニールシート越し、あるいは、寒い中、校庭での九九支援、家庭学習ノートのチェックなど行いました。

1年間の支援時間は、小学校で1211時間、中学校で56時間でした。また、支援に入ることができた学校は、小学校3校、中学校1校でした。

校長先生 こんにちは 28

来るべき日のために「命が一番！健康第一！」で 入間川東小学校長 井上 健

今、私たちの生活は、新型コロナウイルスの影響で様々な制限を受けながら、我慢を強いられたものとなっています。

学校での教育活動においても、昨年度に至っては、ご承知の通り、3月からの休校に引き続き、5月いっぱいまで子供たちは自宅で過ごすこととなりました。6月から段階的に登校し、その後の教育活動は縮小したり中止に追い込まれたりするものも続出しました。その中でも、外部の方々の協力を得ていた活動については、周囲の状況を見ながら慎重に判断させていただきましたが、SSVCの方々の支援については、残念ながら見送らせていただきました。

話は全く違いますが、私は趣味で、ソフトボールをやっています。昨年度の大会はすべて中止となりました。春と秋に毎年大会があり、大会後には盛大に反省会を開いていました。1年以上、その仲間と会っていません。それぞれの生活スタイルがソフトボールのない生活となっているとしたら、再開したときに、みんな集まれるのか。私は、毎晩素振りを



続けていますが、一人一人のソフトボールに対してのモチベーションが下がっていることはないのか、とても心配です。

SSVCをはじめ、今まで学校に支援をいただいていた方々についても、同じ思いでいます。皆様、今は、ぜひ「命が一番！健康第一！」の生活をしていただき、来るべき日に備えていただけたらと思います。

子供たちは、皆さんのかわりや支援を必要としています。

さやまっ子学習支援員養成講座の準備状況

去る6月7日、狭山市から今年度の講座開講条件が以下のように提示されました。

- 1) 今年度の講座は、全てオンラインで行なう。
- 2) 校外学習（見学、取材等）は、行わない。
- 3) オンライン授業のサテライトスタジオは、原則元気プラザを使う。緊急事態宣言等で元気プラザが休館となった場合でも、元気プラザからの発信を可とする。
- 4) オンライン授業の研修会は、対面、少人数で元気プラザの使用を可とする。（Zoom研修）

これを受け、月曜日午後開催、10月スタート、回数減を基本に、右記のテーマで開催予定です。

（詳細は広報さやま8月号を参照して下さい）

未経験の方に本講座の受講をお勧めします。

さやま市民大学講座担当 石井 宏晶

カリキュラム（予定）

- ① ZoomによるOn-line学習の体験
 - ② 「さやまっ子」の育成方針
 - ③ 教育関連法規（教育基本法、学習指導要領など）、狭山市教育振興基本計画など
 - ④ 子どもの心理と支援の在り方
 - ⑤ 小・中学校で学ぶ国語の学習内容
 - ⑥ 国語の学習支援経験から
 - ⑦ 小学校の算数・中学校の数学で学ぶ学習内容
 - ⑧ 算数・数学の学習支援経験から
 - ⑨ 小・中学校で学ぶ英語の学習内容
 - ⑩ 英語の学習支援経験から
 - ⑪ 狭山市学校支援ボランティアセンター（SSVC）について
 - ⑫ 講座学習成果の発表会（受講生毎に）、修了式
- ※但し、コロナ禍の状況により開催は不確定です。

よろしくお祈いします

2021年度 S S V C運営委員メンバーのご紹介



山田 恵一



内野 隆子



庄司 一之



安藤 仁丸



角田 ふで子



有田 茂



高嶋 英夫



木村 陽一



石井 宏晶



藤森 八重子



諸井 Adv



猪股 Adv

2021年度 小・中学校担当コーディネーターのご紹介

ブロック	学 校 名	CN名	ブロック	学 校 名	CN名
Aブロック	柏原小学校	占部 洋一	Cブロック	新狭山小学校	佐藤 光雄
	広瀬小学校	小林 希世子		川田 みな子	
	水富小学校	山田 恵一 矢野 公正		狭山台小学校	大竹 五郎 藤森 八重子
	笹井小学校	大野 美恵		堀兼小学校	庄司 一之 松永 圭市
	柏原中学校	高嶋 英夫 有田 茂 木村 陽一		富士見小学校	近藤 彰男
	西中学校	小泉 純作 石井 宏晶		狭山台中学校	山田 恵一
Bブロック	入間川小学校	宇田川正子	Dブロック	堀兼中学校	松永 圭市 岡村 道夫 庄司 一之
	入間川東小学校	武田 武夫		山王小学校	太田 良一
	奥富小学校	塩野谷 守夫		御狩場小学校	菅原 秀子
	入間川中学校	猪股 英行 西 好次		入間野小学校	土屋 富雄
	中央中学校	早川 真一 酒葉 泰男		南小学校	菅之屋 一郎
				山王中学校	齊藤 幸男
			入間野中学校	吉川 敏子	

編集後記： コロナ禍の続く中で従来のような支援活動は出来ませんが、宿題の丸付けをされていてペーパー越しに児童・生徒と繋がっていると感じることがあります。宿題の途中に「先生、ゴメンナサイ、遅くまで頑張ったけどもう限界」とか「商って何ですか」のコメントを見つけ、子供たちの一生懸命な取り組みが伝わって来ます。この子供たちが一人前の社会人となる為に、少しでもお役に立てたらと思う毎日です。そして笑顔で触れ合える日を健康で迎えられるよう願っています。

Y・F